

## シラバス情報

授業方法	講義 ・ 実験 ・ 実習		
系 列	実 習		
科 目 名	電装整備		
必修・選択	必修科目 ・ 選択科目		
対象学科	一級自動車整備科・二級自動車整備科自動車整備士コース		
年次学期・曜日・時限	1年後期	・ 木～金曜日	・ 1時限～8時限
時 限 数	9 1. 2時限（期末試験を除く）		
担当教員名	溝田 稜・竹森 翔		
実務経験	有 ・ 無		
	国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、整備を行う上で必要となる電流・電圧・抵抗の測定方法及び電装品の構造についての実習を実施する。		
授業の目的	自動車に使用されているスタータ・オルタネータの点検を習得する。 スタータ・オルタネータ・バッテリー・リレーの点検の理解。 自動車のヘッドライト・ウィンカーの電気回路を理解。		
テキスト	①電装品構造 (国土交通省自動車交通局推薦) ②三級自動車ガソリン・エンジン (日本自動車整備振興会連合会 発行) ③二級ガソリン自動車・エンジン編 (日本自動車整備振興会連合会 発行)		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲
第1回	スタータ・モータ（直結式）	分解・組み立て・測定	①・②・③
第2回	スタータ・モータ（外接式）	分解・組み立て・測定	①・②・③
第3回	スタータ・モータ（内接式）	分解・組み立て・測定	①・②・③
第4回	オルタネータ（ファン内装式）	分解・組み立て・測定	①・②・③
第5回	オルタネータ（ファン外装式）	分解・組み立て・測定	①・②・③
第6回	ベンチエンジン	スタータ・モータ及びオルタネータ脱着 レポート提出	①・②・③
	ステップ試験（中間試験）	第1回～第6回までの授業内容に関する実技試験	
第7回	スタータ・モータ	単体点検（直結・外接式）	①・②・③
第8回	オルタネータ	単体点検（ファン内装・外装式）	①・②・③
第9回	バッテリー リレー	単体点検・測定・結線	①・②・③

第 10 回	ヘッドライト回路 ウインカー回路	回路を理解し、ボード上に 結線できるようにする。	①・②・③
第 11 回	ヘッドライト回路 ウインカー回路	回路を理解し、ボード上に 結線できるようにする。	①・②・③
第 12 回	まとめ	第 7 回～第 1 1 回の復習 レポート提出	①・②・③
	ステップ試験（中間試験）	第7回～第12回までの授業内容に関する 実技試験	
	期末試験	第1回～第12回までの授業内容に関する 実技試験	
到達目標	自動車に使用されているスタータ・オルタネータの測定・良否の判断を習得する。 スタータ・オルタネータ・バッテリー・リレーの点検の習得。 ヘッドライト・ウインカーの電気回路を自身で組むことができるようになる。		
成績評価方法	平常点（小テスト，レポートやノートの提出とその評価，出席及び授業態度），ス テップ試験（中間試験）並びに期末試験を合算して行う。		
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し，レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は，補講も完了している者。		
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p style="margin-left: 40px;">中間試験の点数 30% 期末試験の点数 40% 平常点 30%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって評価する。</p> <p style="margin-left: 40px;">60～69点 = 可、70～79点 = 良、80～89点 = 優、90点以上 = 秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を認定し、成績は60点 = 可とする。</p>		
成績評価できない 場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、 又は、成績評価が60点未満の場合。		